島櫻教前 隐域数有事務的

灣峽島町灣塘山 受託2-9772

知 村 の取組紹介

指導主事として、私が肝に銘じ そう捉えたんだねぇ 教員の指導力向上に携わる

ていることの一つに次の体験が

けしていた時のことです。 Aさんの算数プリントを丸付 しがちです。ある日の放課後、 好きです。でも時々計算ミスも いつもニコニコ朗らかで算数大 AさんはB小学校の一年生。

さんを教卓の横に呼んでみま 残念これも違ってるなぁ・・・。 ありゃりゃ間違い。8+6= 3 5+3=8正解。9+4= 2 は一緒に復習をしようとA した。 に計算ができるようになりま 伝えると、嬉しいことに、確実

隠

しました。この後正しい知識を

ら笑顔で次のように唱え始め 「うん、いいよ。9に4をたすん に数えたのかなぁ、教えて。」 Aさん、9+4はどんなふう 」と指を9本折ってか

とは別に存在する数と捉えて |リズムはきちんと理解してい |でね』と教えていたことを大切 『繰り上がりの口 を忘れない に捉えていて、9の次の数の 10 り上がった 10を大事に、大事 りの計算ができない子供と安 る。」と思い、Aさんは繰り上が にしていたんだ。計算のアルゴ 易に判断していたことを反省 いたんだ。きっと担当の先生が ぐに「そうだったのか、Aさん繰 は、一瞬びっくりしましたがす から9+4=12だよ。」と。私 ょ、その次は繰り上がった 10 でしょ、それから 11、12、だ 初めは9でしょ、 次は10でし

理 ごとです。その時も子供たちは す。熱心に集中するが故のでき 子供たちなりの根拠を持って 者側と学習者側とのすれ違い |側・学習者側それぞれの意 論思考を行っています。指導 時々発生することがありま 学習活動が深まる際、指導 を大切にすることを大前提

数見られました。 もダイナミックな良い取組が多 法」など知夫村ならではのとて るベテラン先生の「図書館と教 と工夫をしています。今年もあ の各機関と上手に連携を取っ の少なさの良さを生かして、ペ 児童生徒数は少ないですが、そ 業務に対して皆さんとても前 団は、若手・中堅・ベテランと年 場所と実験場所分離指導方 室を前後に分けてノート記入 室の有効的な活用方法」「教 て様々な場で学習を行ったり たり、機動性を生かして村内 ア活動・集団活動を充実させ 齢構成もよく、そしてすべての 向きで、協力的で、熱心です。 知夫小中学校の教職員集

へこの高い指導技術の周知を 図れるように心がけて訪問通 らしい取組をしっかりと意味づ 行ったりしています。 信を発行したり、言葉がけを 上を図るとともに、他の先生方 けをして教員の意欲の継続向 指導主事として、その素晴

ながら業務に取り組んでいま 動に携われる喜びを、日々感じ 子供たちの教育という尊い活 (塚本潔)

して求められる姿と考えてい とが良き「解説者・助言者」と 重にすり合わせを行っていくこ 先入観を持たず丁寧に

加費も基本無料です。

保護者負担となっています。 町村によって違いはありますが 件があるのです。参加費も市 童クラブは、保護者の就労要 成を図るものです。つまり、児 休日に小学生を預かり、 者の就労などを理由に昼間や 福祉部局などが主管し、保護 や生活の場を与えて健全な育

ています。知夫村には、どちら 放課後子ども教室を充実させ、 放課後児童クラブの代わりに 夫村です。飯南町と川本町は、 クラブを有しない町村が三つあ ります。飯南町と川本町と知

放課後見守り支援安心・安全

実は違いがあります。 目的の一つになっていますが、 子どもの居場所を作ることが すか。どちらも放課後や休日に 子ども教室の違いを知っていま 放課後児童クラブと放課 後

誰でも参加することができ、参 です。地域の小学生であれば な体験・交流活動を行う事業 域住民の参画を得ながら多様 管し、居場所づくりのほかに地 教育委員会や公民館などが主 まず、放課後子ども教室は、

一方、放課後児童クラブは、 、遊び

になりました。

進めています。

島根県内には、放課後児童 | じようにはいきませんが、知夫 村の子供たちが安心・安全に このように他の市町村と同

させました。 用して、見守り支援をスタート 年度から放課後の図書館を利 も存在しません。そこで令和3

うのではないかと懸念されるよ を第一に考えて実施すること りの形態を変えることで安全 き届かず児童が危険な目に合 るのではないか、大人の目が行 増え、自由にしておくと他の図 た。しかし、徐々に利用児童が 問題もなく運営されていまし きるというものでした。利用児 る代わりに図書館にやってきて 書館利用者さんに迷惑がかか 遊んだりして過ごすことがで 自由に本を読んだり、校庭で うになりました。そこで、見守 童も数人だったため、それほど はじめは、週に三日、家に帰

する時間や体験活動をする時 やしました。また、場所も図書 とにしました。人員についても も教室の要素を取り入れるこ 間を設定するなど放課後子ど 活動できるようにしました。 移動し、子供たちがのびのびと 館から小中学校の空き教室に 教育委員会と村民福祉課が協 力し、見守りに付く職員を増 まず、内容を変更し、宿題を

の方法で提供していきます。 みながら学べる体験を知夫村 過ごせる場所と、その中で楽し (池田 恒 祐

Dのある子ども 多様な学び推進事業

田市、益田市)を指定し、支 支援の研修を進めています。 し、指導主事を対象としたLD ザー(大学教授など)」を委 別支援教育課は、その対策と 題として取り上げています。 指導支援のあり方や取組を して「多様な学び推進アドバイ (安来市、出雲市、飯南町、 LD傾向のある児童生 のための体制つくりへの助言を さらに今年度、5つの 近 年、 市町 村教育委員会は 一徒への 市 大 特

ントを学校の協力のもとに取 とで解消を図りたいと思いま であり、県の施策と連動するこ を支援することは喫緊の課題 ます。学習の基底となる読み り組み、実態の把握と支援の おいてひらがな読みのアセスメ 書きに困り感のある児童生 あり方について協議を進めてい 隠岐圏域においても、町村に

